

柏崎市第五次総合計画

# 基本構想・前期基本計画

概要版

これからもずっと そしてもっと柏崎



柏崎市

## 誇りある、元気な柏崎へ 「力強く 心地よいまち」



柏崎市長 櫻井雅浩

戦後、我が国は、欧米各国に追いつき追い越せの勢いの中で、高度経済成長時代という一時代を築き、一躍、先進国へとその地位を押し上げてきました。

高度経済成長時代は、量の時代ともいわれ、本市においても主に首都圏に対し、労働力として多くの人材を輩出してきました。さらに、原子力発電所の立地地域として電力を供給し、我が国の経済成長に大きく寄与してきました。大量生産・大量消費の時代でした。

その後、バブルの崩壊とともに、私たち国民の価値観やライフスタイルは次第に変化し、ライフスタイルの多様化がいわれ始めました。

都市部の若者の中には、人と人との結びつきの大切さを感じ、自分らしく生きたいという意識の変化が生まれるとともに、社会の第一線を退いた方々は、セカンドライフを地方で過ごしたいという、地方回帰の動きが見られ始めました。

まさに量から質へと時代が変わったと同時に、地方が選ばれる時代に入ったといえます。

一方、本市を含む多くの地方都市が、人口減少・少子高齢化の同時進行という大きな課題を抱えています。社会が縮減していく現実を受け止めつつも、持続可能なまちをめざすためには、市民と行政が共にこの課題に対する危機感を持ち、その克服に向け、共に取り組んでいくことが求められます。

こうした中、今後10年間の柏崎のめざすべきまちの姿を明らかにするとともに、その実現のための施策の方針を示す「柏崎市第五次総合計画」をこの度、策定いたしました。

市民の皆さんから誇りある、元気な柏崎と感じていただける「力強く 心地よいまち」の実現に向けて、「これからもずっと そしてもっと柏崎」のキャッチフレーズのもと、市民の皆様と共に、様々な諸課題に対して共有点を見出しながら、新たな柏崎づくりを私が先頭に立って進めてまいります。

市民の皆様も、新しい事に挑戦する意欲を持って、共に新たな柏崎づくりを進めようではありませんか。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました柏崎市総合計画審議会及び分科会委員の皆様を始め、多くの市民の皆様から心から感謝申し上げます。

# 柏崎市第五次総合計画

## 目次

I 第五次総合計画の概要	3
II 将来都市像	5
III 分野別施策の基本方針	7
IV 財政計画	14

# I 第五次総合計画の概要

## 策定の背景

本市は、これまで「柏崎市長期発展計画」(昭和50～59年度)から「柏崎市第四次総合計画」(平成19～28年度)まで、それぞれの時代に対応した長期的な計画を策定し、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

しかしながら、本市の人口は平成7年をピークに減少が続き、少子高齢化の傾向に歯止めがかかっていません。特に若い世代や女性の大都市圏への流出が顕著に現れています。

このような傾向は、労働力人口の減少などから社会経済を構造的に停滞・縮小させるとともに、高度経済成長期に整備した社会基盤や農山漁村における多面的機能の維持管理を難しくさせるなど、市民生活に影響を及ぼしつつあります。

一方で、社会の成熟化に伴い、市民一人ひとりの価値観やライフスタイルなどの多様化がますます進んでおり、経済的な豊かさとともに、精神的な豊かさが求められています。

このようなことから、本市に関わる全ての人々が人口減少に伴い、社会が縮減する現実を受け止めつつも、まちへの誇りと愛着を育みながら、夢や希望を持って暮らしていけるよう、多様な主体が連携し、共に支え合う持続可能なまちづくりを目指すための共通の指針として「柏崎市第五次総合計画」を策定します。

## 位置付け

「新潟県柏崎市総合計画条例」第3条第1項の規定に基づく本市行政計画の最上位計画として位置付けます。

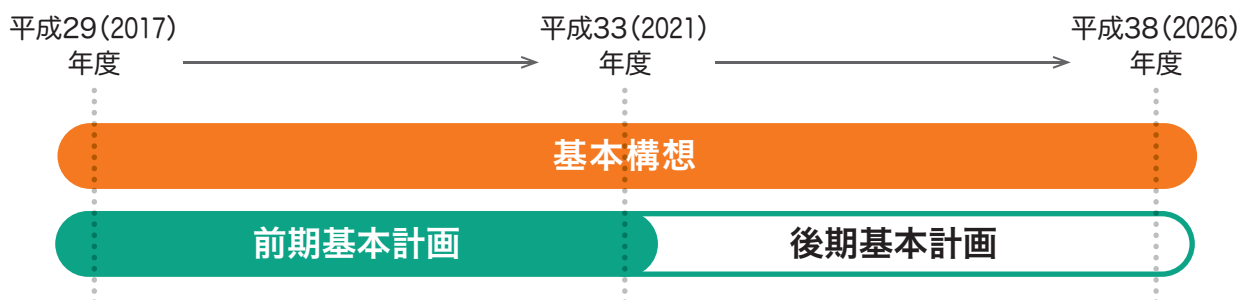
## 構成と期間

「第五次総合計画」は、「基本構想」と「基本計画」で構成され、計画期間は平成29(2017)年度から平成38(2026)年度までの10年間とします。



基本構想は、我が国を取り巻く時代背景や本市における課題、目標年次(平成38(2026)年度)における将来都市像と基本理念、今後の人口展望、土地利用構想及び分野別施策の基本方針を示し、10年間のまちづくりの方向性を明らかにしたものです。

基本計画は、基本構想に掲げた将来都市像の実現に向けた具体的な施策を体系的に取りまとめるとともに、基本計画を先導する重点戦略を明らかにしたものです。



# 第五次総合計画の全体像

## 基本構想

### ■本市における最重要課題

人口減少・少子高齢化の同時進行への対応

### ■将来都市像

将来都市像  
力強く 心地よいまち

#### 基本理念

- ①頼もしさをつなぐ
- ②豊かさをつなぐ
- ③健やかさをつなぐ
- ④たくましさをつなぐ
- ⑤柏崎らしさをつなぐ
- ⑥共につくる 共にはぐくむ

#### キャッチフレーズ

これからもずっと そしてもっと柏崎

今後の人口展望

土地利用構想

### ■3つの戦略的な視点

1. 子どもたちがまちへの誇りと愛着を持つ
2. 若い世代や女性から選ばれる
3. 高齢者がいきいきと暮らす

## 基本計画

### ■分野別施策の基本方針

- ①防災・生活・環境分野  
『頼もしさ』をつなぐまちをめざして
- ②産業・雇用分野  
『豊かさ』をつなぐまちをめざして
- ③健康・福祉分野  
『健やかさ』をつなぐまちをめざして
- ④教育・スポーツ分野  
『たくましさ』をつなぐまちをめざして
- ⑤魅力・文化分野  
『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして
- ⑥自治経営分野  
多様な主体と共創し共育するまちをめざして

### ■重点戦略

- 重点戦略1  
「健康・元気・いきいき戦略」
- 重点戦略2  
「産業イノベーション戦略」
- 重点戦略3  
「地域の宝・育成戦略」
- 重点戦略4  
「魅力あるまち形成戦略」

### ■財政計画

平成33年度の財政見通し

○歳入合計額:43,254百万円

○経常収支比率:92.3%

○実質公債費比率:11.0%

## II 将来都市像

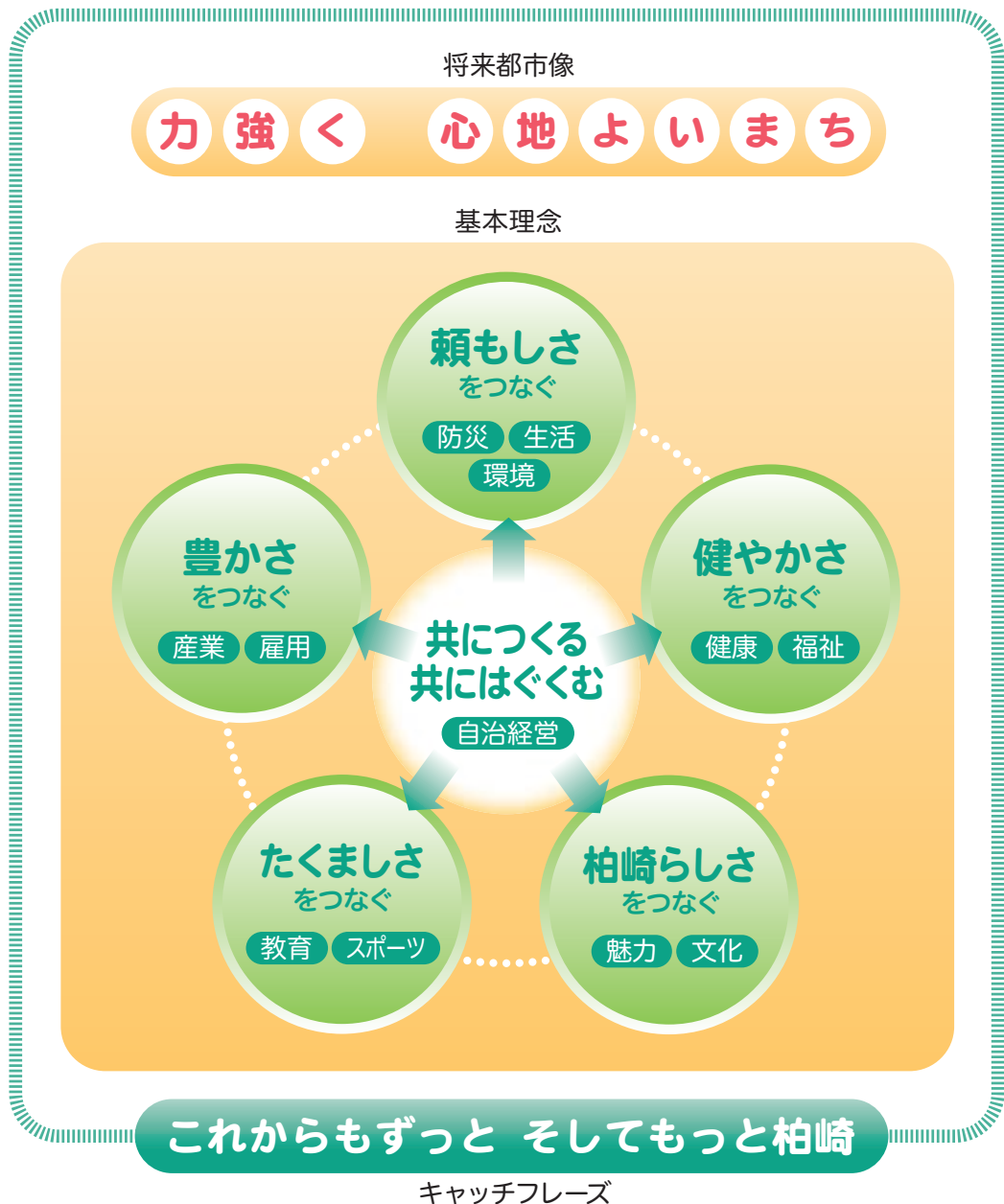
### 将来都市像

第五次総合計画は、市民一人ひとりが柏崎への誇りと愛着を育み、本市に関わる全ての人々と共に支え合い、これからも、学び、働き、暮らすことのできる、「**力強く 心地よい**」まちとなることを目指します。

将来都市像の実現のため、安全で安心して生活できる『頼もしさ』、働く喜びを感じる『豊かさ』、互いに支え合って暮らせる『健やかさ』、健全な人材を育む『たくましさ』、外に向けて発信する『柏崎らしさ』を磨き高めるとともに、新たにつくり出します。

そして、これらを市民同士で、市内と市外を、現在から将来につなぎ、市民や企業、団体、地域、行政などの多様な主体がまちづくりの担い手となって、共につくり、共にはぐくみます。

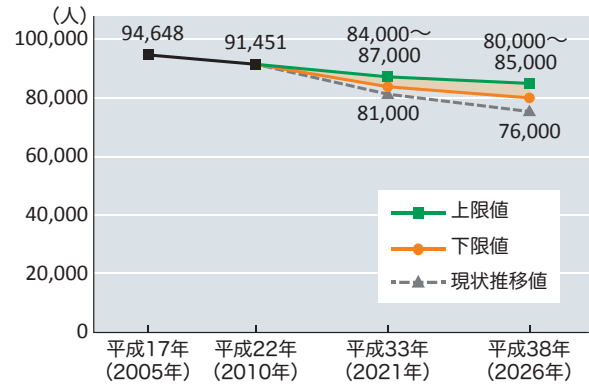
暮らしやすいまち、暮らし続けたいまち、暮らしてみたいまちとして選ばれるよう、将来都市像と基本理念の考え方をキャッチフレーズ「**これからもずっと そしてもっと柏崎**」に込め、多様な主体に対して積極的に働き掛けます。



## 今後の人口展望

本市の人口は、平成7(1995)年をピークに、現在に至るまで減少傾向にあります。

このままで推移すると、平成38(2026)年の人口は、およそ7.6万人と予測されます。人口の減少傾向を受け入れつつも、減少カーブを緩やかにするための施策の着実な推進によって、目標年次の平成38(2026)年において、8.0万人から8.5万人を人口展望として設定します。



## 土地利用構想

安全で快適な暮らしをもたらす、豊かな自然環境とその恵みをいかした農山漁村などの環境を次世代に引き継いでいける土地利用を図るため、将来都市像の実現に向けた適正な土地の利用と活用の方向性を土地利用構想として示します。

### 土地利用の基本方針

- 森林や河川、海などの自然環境の保全
- 農地や森林の土地利用の保全
- 都市的土地利用のコンパクト+ネットワークの形成

### ゾーン及び拠点のネットワークによる都市構造の構築

- 生活を支える都市機能がある程度まとまったゾーンと拠点を維持又は形成するとともに、ゾーンと拠点をネットワークでつなぐ都市構造を構築します。

#### 旧柏崎地区

- (都市機能集積ゾーン)
- ・中心市街地の活性化
  - ・人口や都市機能の立地誘導
  - ・海岸沿いの海水浴場やレクリエーション施設などの魅力向上

#### 西部地区

- (自然交流ゾーン)
- ・観光レクリエーションの場としての魅力向上
  - ・生活環境の維持

#### 上条・黒姫地区

- (中山間・農村ゾーン)
- ・拠点的な集落の生活環境の維持
  - ・文化交流の場としての魅力向上
  - ・森林の適切な整備、保全

#### 鯖石・高柳地区

- (中山間・農村ゾーン)
- ・拠点的な集落への生活サービス機能の集約化と、地域の居住環境の保全
  - ・観光レクリエーションの場としての魅力向上

#### 北部地区

- (農村・漁村ゾーン)
- ・駅や幹線道路沿いの集落を中心に、暮らしやすい生活環境の確保
  - ・地域の環境や景観の保全

#### 中通地区

- (農村ゾーン)
- ・拠点的な集落を中心とした生活環境の維持
  - ・農地の保全

#### 北条地区

- (農村ゾーン)
- ・駅を中心とする拠点的な集落の生活環境の維持
  - ・農林業の維持と、森林環境の保全

#### 郊外地区

- (都市機能・農村ゾーン)
- ・中山間地域において不足する生活サービス機能の補完
  - ・暮らしやすい環境の整備・保全



### Ⅲ 分野別施策の基本方針

#### 3つの戦略的な視点

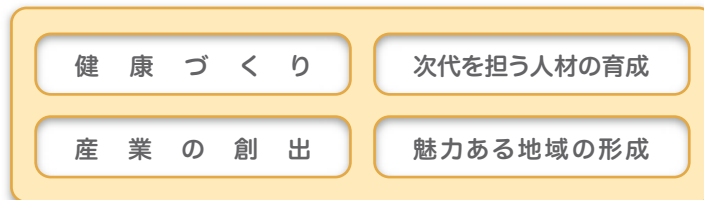
人口減少・少子高齢化が同時進行する中、これをできるだけ緩やかなものとするため、次の3つの戦略的な視点を持って分野別施策を展開します。

- 「子どもたちがまちへの誇りと愛着を持つ」
- 「若い世代や女性から選ばれる」
- 「高齢者がいきいきと暮らす」

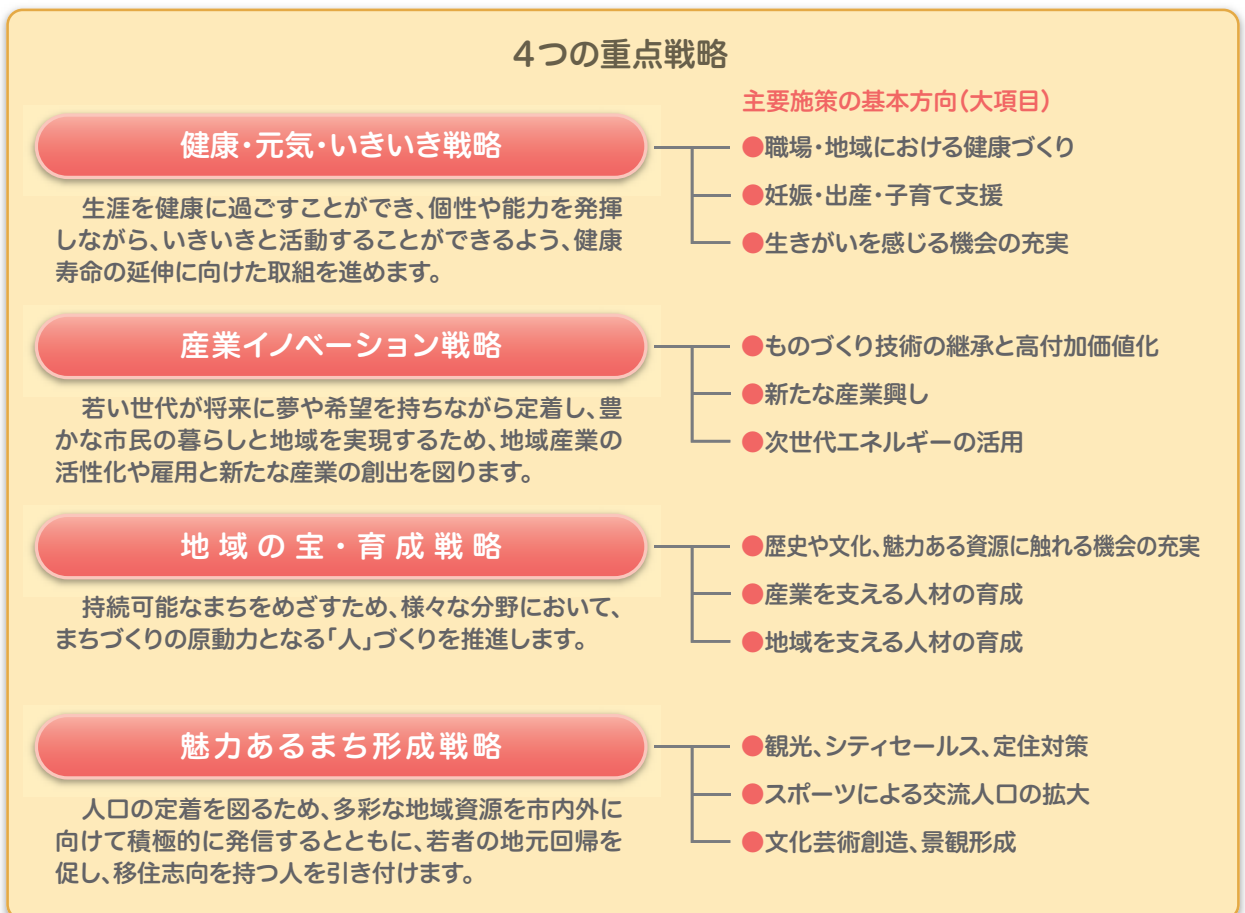
#### 重点戦略

3つの戦略的な視点の中から、分野横断的に取り組むべき4つのテーマを導き出し、4つの重点戦略を設定します。

分野横断的に取り組むべき4つのテーマ



#### 4つの重点戦略





# 1 防災・生活・環境 ～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～

## 1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる

国及び事業者に対し、柏崎刈羽原子力発電所の更なる安全性の向上と透明性の確保を強く求めます。

災害に強い社会基盤の整備を進めるとともに、コミュニティFM放送を利用した防災情報通信システムの導入など、防災・危機管理体制を強化します。

### 主要施策

- ▶ 原子力発電所の安全性向上を追求する
- ▶ 自然災害に備えた対策を進める
- ▶ 防災や危機管理機能を高める

### 主要な事務事業

- 原子力防災対策事業
- 道路防災対策事業
- 防災情報通信システム整備事業



新潟県消防防災航空隊との合同訓練

## 2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる

持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、公共交通の利便性向上を図ります。

安定した除雪体制の構築や防犯対策の推進、ライフライン機能の保全に努め、安全で良好な生活環境を確保します。

増加する空き家の適正管理と利活用を推進します。

### 主要施策

- ▶ 持続可能な公共交通ネットワークを構築する
- ▶ 生活に身近な安全を確保する
- ▶ 良好な生活を支える環境を守る

### 主要な事務事業

- 路線バス確保事業
- 地域で支え合う除雪支援事業
- 空き家対策事業



豪雪地域での屋根雪処理

## 3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる

地域間の連携や交流を支え、災害時には避難路や緊急輸送路となる幹線道路の整備を進めるとともに、市民生活に身近な生活道路を計画的に整備します。

老朽化した道路や橋りょう等の計画的な点検や適切な修繕を実施します。

### 主要施策

- ▶ 社会基盤を機能的に整備する
- ▶ 安全な道路網を確保する

### 主要な事務事業

- 幹線道路整備事業
- 橋りょう修繕事業



トンネル定期点検

## 4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる

次世代エネルギーの利用や省エネルギー設備の導入など、地球温暖化対策を進めるとともに、市民の環境意識の向上に取り組めます。

ごみの発生抑制・再使用・再生利用や豊かな自然環境、生物多様性の保全に対する市民の意識啓発を進めます。

### 主要施策

- ▶ 地球温暖化対策を進める
- ▶ 資源を有効活用する
- ▶ 美しい自然を守る

### 主要な事務事業

- スマートコミュニティ推進事業
- ごみ減量・リサイクル対策補助事業
- 不法投棄防止対策事業



小学生によるクリーンセンターの見学

## 2 産業・雇用 ～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～

### 1 『豊かな』暮らしを支える多様な働く場をつくる

若者や女性などの地元定着を促進します。

子育てや介護などと仕事が両立でき、多様な人材が活躍できる職場環境の整備等を支援します。

雇用の創出につながる企業誘致を進めるとともに、起業・創業に対する支援を充実します。

### 主要施策

- ▶ 雇用環境や就労機会を充実させる
- ▶ 起業・創業を支援する
- ▶ 企業誘致を進める

### 主要な事務事業

- 女性活躍推進事業
- 創業支援事業
- 企業立地事業



社長のたまご塾

### 2 『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ

新製品・新技術の開発や新たな販路開拓、顧客獲得など、積極的な事業展開を図る事業者に対する支援の強化により、産業界の稼ぐ力を育みます。

地域資源をいかした観光地域づくりを進め、交流人口の拡大を図ります。

### 主要施策

- ▶ 商業の魅力を高める
- ▶ 農林水産業の持続性を高める
- ▶ 産業の創造性と技術力を高める
- ▶ 地域資源の活用により観光産業を強化する

### 主要な事務事業

- 商業活性化推進事業
- 柏崎産米ブランド化推進事業
- 人材育成支援事業
- 広域観光推進事業



マイスターカレッジ

### 3 健康・福祉 ～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～

#### 1 『健やかな』心と体をはぐくむ

市民一人ひとりの健康寿命の延伸を図るため、世代に応じた健康教育、健康づくりを進めるとともに、心の健康を保持する支援体制を構築します。

病気になっても安心して生活できるよう、地域医療体制の堅持に努めます。

##### 主要施策

- ▶ 心と体の健康づくりを進める
- ▶ 健康を守る基盤を堅持する

##### 主要な事務事業

- 健康増進事業
- 地域医療推進事業



歯の健康展

#### 2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる

若い世代が出会いの喜びを感じられるような結婚支援に取り組むとともに、子育てサービスの充実やワーク・ライフ・バランスの推進など、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。

子どもの人権を擁護する取組を社会全体で進めます。

##### 主要施策

- ▶ 出会いの喜びを感じる環境を整備する
- ▶ 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する
- ▶ 安心して子育てができる環境を充実させる

##### 主要な事務事業

- 結婚活動応援事業
- 不妊治療助成事業
- 放課後児童健全育成事業



子育て支援室

#### 3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる

誰もが住み慣れた地域において、安全で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センターの機能強化、支え合いのまちづくりへの市民意識の醸成に努めます。

障がいのある人がいきいきと生活できるよう、日常生活や社会活動への支援を充実します。

##### 主要施策

- ▶ 支え合いの地域づくりを進める
- ▶ 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる
- ▶ 障がいがあっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

##### 主要な事務事業

- 生活困窮者自立支援事業
- 介護基盤整備事業
- 地域活動支援センター事業



コツコツ貯筋体操

## 4 教育・スポーツ ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～

### 1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ

子どもたちの「生きる力」を育むため、知徳体のバランスの取れた教育を推進します。

子どもたちがふるさと柏崎に誇りと愛着を感じ、健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域の連携体制を整えます。

安全・安心で快適な教育環境の整備を計画的に進めます。

#### 主要施策

- ▶ 知徳体のバランスの取れた教育を進める
- ▶ 地域ぐるみで子どもや若者を育てる
- ▶ 教育環境を充実させる

#### 主要な事務事業

- 「子ども夢・感動・絆プロジェクト」推進事業
- 学校支援地域本部事業
- 学校施設長寿命化事業



「中学生お仕事創生塾」自律走行ロボットを作ろう！

### 2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ

生涯にわたり、主体的に学び続けられる環境をつくるため、多様な生涯学習ニーズに対応する学習内容の提供のほか、図書館、博物館などの社会教育環境の充実に取り組みます。

学びの成果を地域づくりにいかせるよう、多様な主体と連携した生涯学習を推進します。

#### 主要施策

- ▶ 学びの機会を充実させる
- ▶ 家庭・地域の教育力を高め、共助社会を形成する

#### 主要な事務事業

- 柏崎公民館運営事業
- 市民大学運営事業



昔話語り部教室(鯨波小学校)

### 3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ

ライフステージに応じたスポーツの環境づくりに努めるとともに、スポーツコンベンションなどの実施により、スポーツによる地域づくりを目指します。

東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、「水球のまち柏崎」を目指した取組を推進します。

#### 主要施策

- ▶ スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める
- ▶ 全国や世界に通用する競技者を育てる

#### 主要な事務事業

- 水球のまち柏崎推進事業
- 選手強化事業



第2回全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会  
-かしまぎ潮風カップ2016-

## 5 魅力・文化 ～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～

### 1 『柏崎らしい』個性をはぐくむ

中心市街地の魅力づくりを進めるとともに、多彩な魅力を市内外に発信するシティセールスの取組を強化し、地域の個性を産業の振興に結び付けます。

外国人住民がパートナーとして地域社会へ参画できる多文化共生社会の実現を目指します。

#### 主要施策

- ▶ 柏崎の魅力を高め、良さを伝える
- ▶ 世界に開かれたまちづくりを進める

#### 主要な事務事業

- 柏崎シティセールス推進事業
- 友好交流推進事業



ふるさと納税推進チームによるふるさと納税のリニューアル

### 2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ

市内2大学を高等教育機関の「知」の拠点としてだけでなく、地域発展に貢献する「地」の拠点として位置付け、活用を図ります。

学生に対する地元企業への就職支援を充実し、大学卒業生の地元定着を促進します。

#### 主要施策

- ▶ 地(知)の拠点を活かした取組を進める

#### 主要な事務事業

- 大学との連携・協働事業



新潟産業大学と新潟工科大学による「まちかど研究室」の活動

### 3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる

市民の主体的な活動により守られてきた固有の歴史や文化を確実に継承できる環境づくりを進めるとともに、優れた歴史的・文化的景観の保全・活用に取り組めます。

国内外の多様な文化交流を推進し、子どもや若者の創造的な才能を最大限伸ばせるよう、文化創造の機会を充実します。

#### 主要施策

- ▶ 歴史・文化を保全・活用し、継承する
- ▶ 市民の主体的な文化活動を支援する

#### 主要な事務事業

- 景観形成整備事業
- 文化交流事業



綾子舞伝承学習

## 6 自治経営 ～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～

### 1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ

戦争の悲惨さと平和の尊さの認識を深める機会を提供し、平和を希求する市民意識の醸成を図ります。

市民一人ひとりが互いを大切に、人権尊重が当然のこととして受け入れられる地域社会づくりを進めるとともに、男女共同参画社会の実現を目指します。

#### 主要施策

- ▶ 平和に関する意識啓発を進める
- ▶ 人権を尊重した社会づくりを進める

#### 主要な事務事業

- 核兵器廃絶平和推進事業
- 男女共同参画啓発事業



人権講演会「柏崎フォーラム」

### 2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ

まちづくりの主役である市民の市政への参画と自主的な活動を促進します。

地縁に基づいた住民組織の維持、市民活動団体などの育成、若い世代の地域活動への参加を促進しながら、市民力と地域力を強化し、住みよい地域社会の実現を目指します。

#### 主要施策

- ▶ 市民力が発揮できる環境を充実させる
- ▶ 地域力が発揮できる環境を充実させる

#### 主要な事務事業

- 柏崎リーダー塾事業
- 市民活動支援事業



地方発!ソーシャルビジネス最前線

### 3 持続可能な行政力をはぐくむ

市民サービスの向上と効率的・効果的な市政を実現するため、新庁舎の整備、ICTの活用などを進めるほか、行政課題に適切に対応できる体制づくりに取り組みます。

公共施設の適正な配置と管理・運営を図るとともに、効果的な施設運営に向けた民間活力の導入と活用を進めます。

#### 主要施策

- ▶ 自治機能を強化する
- ▶ 健全な財政を堅持する
- ▶ 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

#### 主要な事務事業

- 新庁舎整備事業
- 新地方公会計導入事業



機能の見直しを行い、新たな活用が始まった  
かしわざき市民活動センター「まちから」

# IV 財政計画

## 1 今後の財政見通し

### 歳入

生産年齢人口の減少や税制改正による個人・法人市民税の減少、固定資産税は、評価替えや原子力発電所に係る償却資産の影響により減少が見込まれるとともに、合併算定替の段階的縮減に伴う地方交付税の減少が見込まれます。

一方で、電源立地地域対策等交付金は、今後も現在の水準が確保されると見込まれます。

なお、平成30年度は、ガス事業の民営化に伴う売却収入が見込まれることから一時的に予算規模が膨らむ予定です。

### 歳出

義務的経費は、社会保障に要する扶助費が増加する一方で、新潟県中越沖地震による災害復旧事業債の元利償還の多くが平成30年度に終了することなどから、計画期間中は減少傾向となります。

また、投資的経費は、平成31年度から2か年に渡り新庁舎建設が予定されていることから、一時的に増加しますが、その後は逡減する見込みです。

### 今後の課題

歳入では、地方交付税の減少や市税の逡減など、国の政策や景気に左右されることに加え、原子力発電所の動向に影響される面があり、今後の財政見通しでは、一般財源に不足が生じる状況にありますが、財政調整基金からの繰入れにより対応しています。

このような厳しい状況において、歳出では人件費や扶助費、公債費など義務的経費の節減が財政健全化を進める際の課題となっています。

## 2 運用方針

### 堅実な財源の確保

累積する政策事業の実施に当たり、市税の徴税率の向上や使用済燃料税の現状確保、企業誘致の促進などによる税収確保に努めます。

また、国・県支出金の積極的な確保や普通交付税措置のある合併特別債、過疎債などを活用します。

補助金は、その意義などを検証し必要な整理・合理化を行うとともに、市民負担の公平性の観点から適正な受益者負担を進めます。

さらに、広告事業の拡充など、創意工夫による新たな独自財源の確保を目指します。

### 効率的な財源の活用

指定管理者制度などの官民連携により、硬直傾向にある経常的経費や維持管理費を削減します。

「柏崎市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の更新及び大規模修繕に要する経費の抑制に努めます。

新地方公会計の導入により、限られた財源の効率的な活用に努めます。

当面は、原子力発電所立地自治体固有の関連交付金を有効に活用する一方で、過度に依存しない財政運営を中長期的に目指すための具体的な検討を進めます。

### 「明日の柏崎」を見据えた財政運営

社会・経済情勢の変化に柔軟に対応できる財政構造を構築するため、自主財源の拡大につながる施策を展開する一方で、本市の未来を拓く重点的な政策事業を明確に掲げながら積極的に取り組みます。

また、徹底した既存事業の見直しにより、限られた財源を効果的に配分することで、メリハリのある財政運営を進めます。

「第二次行政経営プラン」に基づき、これまで以上の行財政改革を展開します。

### 今後5年間の財政見通し

(単位:百万円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
歳入合計額 (=歳出合計額)	49,355	49,909	49,109	47,601	43,254

### 主要な財政指標の推移

(単位:%)

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
経常収支比率	89.9	91.2	90.3	90.5	92.3
実質公債費比率	13.9	13.8	13.7	12.6	11.0

経常収支比率……… 地方公共団体の人件費や公債費などの経常的経費のために、普通税や普通交付税などの用途の特定されない経常一般財源がどれだけ充当されるかを示す割合のこと。

実質公債費比率……… 実質的な公債費(地方債の元利償還金)が財政に及ぼす負担を示す指標であり、一般財源等を充当した地方債の元利償還金を標準財政規模等で除した割合のこと。



## 柏崎市第五次総合計画

基本構想 (平成29年度～平成38年度)  
前期基本計画 (平成29年度～平成33年度)

概要版

平成29年3月

編集・発行 柏崎市総合企画部企画政策課

〒945-8511 新潟県柏崎市中央町5番50号  
Tel 0257-23-5111(代) Fax 0257-32-3303

e-mail [kikaku@city.kashiwazaki.lg.jp](mailto:kikaku@city.kashiwazaki.lg.jp)

URL <http://www.city.kashiwazaki.lg.jp>

